

海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な収蔵品が
日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記を
めくるように積み重ねた歴史を紹介します

“ 孟 買 棉 花 積 取 契 約 書 ”



孟買棉花積取契約書
作成日：1905年1月25日
作成者：大日本紡績連合会
委員長 山邊丈夫
宛て先：日本郵船(株)
第三代社長 近藤廉平

「孟

買棉花積取契約書」は明治の日本の発展と深く関わりがある史料です。「孟買」はムンバイ(インド)、「棉花」は繊維の原料となる綿を指しています。

日本の近代化を支えた繊維産業にとって、原料の綿を安定して供給することは重要な課題でした。1893(明治26)年、NYKは大日本綿糸紡績同業連合会の要請により、日本とボンベイ(現、ムンバイ)の間に航路を開設しました。ボンベイ航路開設によりインドの棉花を安定して輸入できるようになり、日本の基幹産業たる繊維産業は大きく発展しました。

「孟買棉花積取契約書」は、ボンベイ航路開設から10年以上を経た1905(明治38)年1月に大日本紡績連合会が近藤廉平第三代社長宛てに送った契約書です。契約当時、日本は日露戦争真っただ中で、商船も軍事徴用されました。当社の船舶も合計72隻(26万総トン)徴用され、船舶が不足し、ボンベイ航路も休止せざるを得ない状況に追い込まれました。そのため、棉花の安定輸送を目的に外国船を用船することなどが両者間で取り交わされました。

戦争中でありながらも、日本の産業発展を支え続けようとした当社の努力を垣間見ることができる貴重な史料です。

問い合わせ

日本郵船歴史博物館

- 所在地：神奈川県横浜市中区海岸通3-9
- 電話：045-211-1923
- 開館時間：午前10時～午後5時
(最終入館：午後4時30分)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 臨時休館：5月7日(火)、8日(水)

- 入館料：一般400円
シニア(65歳以上)・中高生250円
小学生以下無料
(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の提示で入館無料)
- ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>

